

FUKUSHI

福祉

あさくち

ASAKUCHI

2013年2月

第25号



 社協だより

社会福祉法人 浅口市社会福祉協議会

- 本所 浅口市鴨方町鴨方73 TEL 0865-44-7724
- 金光支所 浅口市金光町占見新田751 TEL 0865-42-7308
- 寄島支所 浅口市寄島町16010 TEL 0865-54-3317
- カニ丸の家 浅口市寄島町16089-17 TEL 0865-54-3113

www.fukushihokkayama.or.jp/Asakuchi/

会長年頭挨拶



浅口市社会福祉協議会

会長 山下 隆志

あけましておめでとうございま
す。

皆様には、お健やかに平成二十五
年の新春をお迎えのこととお慶び申
し上げます。

旧年中は、地域福祉の推進に温か
いご支援とご協力を賜り、心よりお
礼申し上げます。

昨年の介護保険制度の改正、障害
者虐待防止法の施行等、社会福祉を
めぐる諸制度・環境も大きく変化し
ております。また、災害に対する備
えも緊急の課題であり、地域防災の
整備等が進められており、本会にお
きまして「浅口市災害ボランティア
アセンター」を設立し、災害ボラン
ティアの育成、災害時の迅速なボラ

ンティア活動の推進を図っていると
ころでございます。今後は、このセ
ンターを基盤に、行政と連携しなが
ら住民の方々の地域防災意識の高
揚、ボランティアの育成等に努め、
災害に強いまちづくりの一翼を担っ
てまいります。

さて、本会は地域福祉の推進を使
命としておりますが、認知症高齢者
の地域生活支援、一人暮らし高齢者
の孤立防止、障がいを持たれている
方の自立生活支援、長引く不況によ
る生活困窮世帯の増加、毎日のよう
に報道される児童や高齢者への虐待
問題等、地域の福祉課題は増大・多
様化しております。

このような福祉課題に対し、「自

助」や「公助」はもとより、住民相
互の助け合い・支え合いである「共
助」の力が地域に求められていま
す。福祉委員やボランティアの皆様
には、この共助の力となつて福祉活
動にご尽力いただいておりますこと
に、紙面ではありますが感謝と敬意
を表します。さらに、地域の皆様
はこの共助の活動であるサロン活
動や地区社協活動、福祉委員活動等の
財源であります、社協会費や慶弔等
に際してのご寄附をいただいておりますこと、関係者の皆様に心から感
謝申し上げます。

本年も、だれもが住み慣れた地域
でいつまでも安心して生活できるよ
う、「福祉のまちづくり」のために、
皆様のお知恵やご指導を賜りながら
職員一丸となり、尽力してまいりま
す。

本年もご理解とご支援をよろしく
お願い申し上げます。
最後になりましたが、本年が皆様
にとりまして、より良い年となりま
すよう心から祈念いたしましたして、新
年のご挨拶といたします。

もくじ



CONTENTS

支え合いサポーター制度

はじめ

講演録

03

新春紙上対談

福祉委員の活動を通じて

データ

04

おもちゃ病院

年間計画など

おしらせ

07

日常生活自立支援事業

制度紹介

08

ボランティア協力校だより

報告

10

お達者さん

連載

13

浅口人「あさくちびと」

新連載

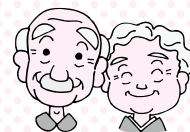
14

〈表紙〉 寄島剣道スポーツ少年団の
寒げいこの様子です。

高齢者支え合いサポーター事業はじまります。

～高齢者同士がお互い支え合う地域づくりのために～

この制度は、65歳以上の市民の皆様が、積極的にボランティア活動に取り組むことで、自らの健康増進を図り、支え合いのまちづくりに貢献することを目的としています。



▶高齢者支え合いサポーターとは

高齢者人口の増加と共に、地域の中でゴミ出しができない、なかなか自分で買い物に行けない等、ちょっとした家事でお困りの方が増えています。介護保険のサービスを受けるほどではない方のお手伝い（おおむね30分以内で終わるような簡単な手助け）を、元気な高齢者の方の生きがいや社会貢献、介護予防活動として支援するのが「高齢者支え合いサポーター」です。

▶サポーターになるためには

浅口市内にお住まいの65歳以上の健康な方（具体的には介護保険の要介護・要支援認定を受けていない方）で、浅口市包括支援センターが実施する「高齢者支え合いサポーター養成講座」を受講していただき、登録された方がサポーターになれます。

▶サポーターの支援を受けるためには

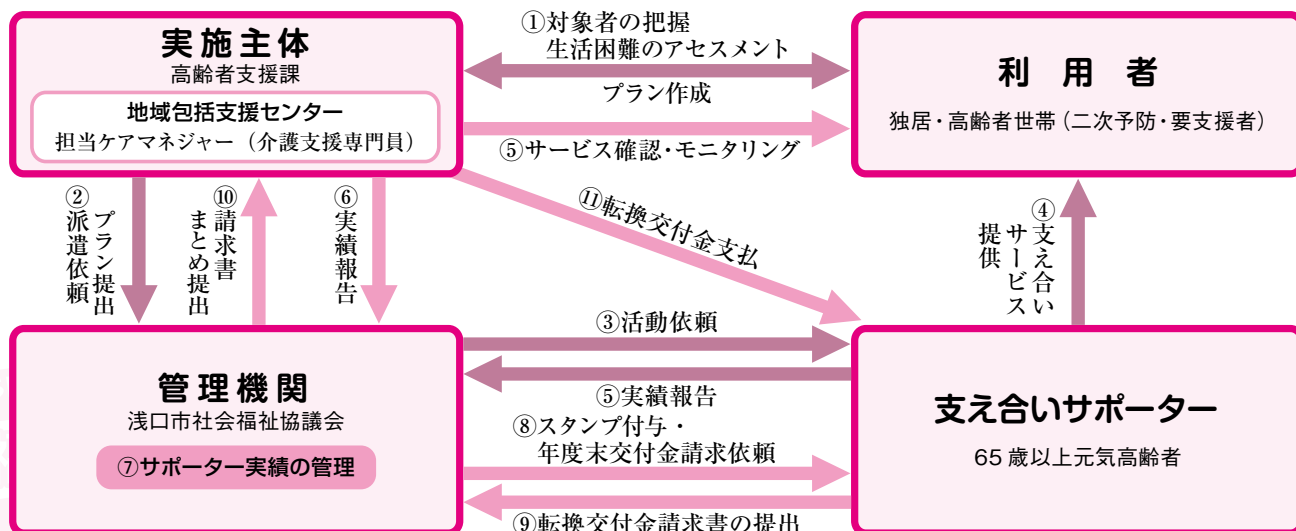
市役所の高齢者支援課が要支援及び二次予防事業の対象者のうち、サポーターの支援を受けることで自立した在宅生活が続けられると判断した方が対象となります。

▶サポーターとして活動すると

活動を終えたのちにポイント手帳にスタンプが押印され、スタンプは数に応じて転換交付金を受け取ることができます。（1スタンプ＝100ポイント、1ポイント1円）毎年3月末で精算して、指定口座に振り込まれます。ただし、年間最大5,000ポイントまでとします。

▶お問い合わせ 浅口市地域包括支援センター ☎44-7388
浅口市社会福祉協議会 ☎44-7744

浅口市高齢者支え合いサポーター事業の流れ



新春
対談

福祉委委員をよろしく

あなたのそばで地域のため — 福祉委員ほっと・そっと・ずっと —

福祉委員は、身近な地域での福祉を盛り上げるボランティアです。おおむね 50 世帯に 1 名を社会福祉協議会の会長が委嘱しています。少子高齢化がすすむ中、地域での助け合いは欠かせないものとなっています。福祉委員は、その担い手として期待されています。

このたびは、新春紙上対談として福祉委員 6 名の方にお集まりいただき、日ごろの活動などをお話していただきました。



楽しいサロンが自慢

垣内：私の地域でもふれあいサロン（以下、サロン）が始まった。ボランティアの方 10 人くらいが企画運営してくれている。福祉委員としては大したことは出来ないが、地域を挙げたサロンとなるよう、ボランティアが活動しやすいように後方支援をしたいと思っている。

浜淵：私が住んでいる団地には、同年代が多く、高齢化も一気に進むと思うので団地は住民のつながりを強くすることが必要。独居高齢者 25 人を民生委員と協力して、見守っている。サロンは今年 9 年目



垣内 誠治さん

◆ 出席者 ◆

垣内	誠治	さん	(鴨方町本庄)
浜	国江	さん	(鴨方町鳩ヶ丘)
田	整二	さん	(金光町佐方)
友	伯江	さん	(金光町八重)
中	昭	さん	(寄島町早崎)
頃	静	さん	(寄島町青佐)
国	隆志		(浅口市社会福祉協議会長)
山			

に入り「笑顔で参加」をモットーに運営しています。

地区社協にも参画して

友田：地区社協が立ち上がって、福祉委員としても参画している。地区の行事が活発になった。サンマ焼きやしめ縄づくりもした。私は、独居・高齢者世帯 8 軒の見守りが担当。バーナー訪問が始まって、ゆくり話せようというたこと

	愛称	掲示板	いのちのバトン	バースデー訪問
金光	いきいき金光サポーター (H20年10月設置) 福祉委員 70名	156	1290	370
鴨方	ハートフル福祉員 (H14年4月設置) 福祉委員 117名	200	968	505
寄島	はまかぜサポーター (H20年4月設置) 福祉委員 50名	76	419	293

頃末：私の町内会では福祉部会をつくり、2人ペアになって高齢世帯を見守っている。夜、電気が灯いたり消えたりするのも気に留めている。サロンも町内会・民生委員・愛育委員などと連携して実施している。年1回、「おでかけサロン」

「いのちのバトン」 で安心を

で第4木曜に決めて、毎回45人ぐらゐ参加し、時期に応じた昼食も用意する。食事づくりは、ボランティアが創意工夫して、参加者もボランティアも楽しみにしている。

思う。
中野：私の地区も地区社協が立ち上がった。地区社協の事業で、一人暮らし高齢者に弁当を配っている。さらに夏休みには子ども会と共催でお好み焼きパーティーをしている。12月にはちぎり絵で色紙づくりをしている。サロンも活発



中野 伯江さん



国本 静さん

をしているが、今回はふれあいバスに「乗る練習」として、鴨方の健康福祉センターに行った。交通・移送の確保にも関心を持っている。
国本：私の担当区の独居・高齢世帯には全員、いのちのバトンを置いてもらった。万が一のための安全安心に役立つ。いのちのバトンの取り組みで、福祉委員への理解が深まったと思う。サロンは、民生委員と福祉委員が企画と会計を受け持っている。昨年は大正琴を呼んで演奏してもらった。お茶菓子は、時折有名店のものを用意している。話のタネにもなり、話がふくらみます。

福祉委員の情報交換を



友田 整二さん

山下：日頃の福祉委員の活動、本当にありがたいです。これだけ高齢化がすすむと福祉委員制度は必要不可欠。他の地区の福祉委員の活動を聞く機会は大切です。いままで福祉委員の活動は、旧町単位で行ってきたが、全市の福祉委員が情報交換し、連携する場を設けたい。そのことが社会福祉協議会の活動の参考になるし、活動の基盤になると思う。
垣内：サロンの課題としては、閉じこもりがちの人をいかにしてサロンに参加できるようにするか。楽



頃末 昭さん

しいことは大切だが、楽しいだけではダメ。介護予防の発想で地域の方々に参加いただくことが必要。サロンの担い手の後継者の育成も気になるところだ。

社協には、サロンのリーダー育成の研修に力を入れてほしい。

浜淵：掲示板には社協の行事や地域福祉などの情報を定期的に掲示している。身近な情報源として効果があると思う。地区社協としての取り組みをもう少し、活発に運営できる体制を整えてほしい。

福祉課題の解決に向けて

友田：福祉委員の活動は、サロンと

掲示板の管理などがありますが、困っている人の声を掘り起し、問題解決にむけて必要な制度や機関につなげることが本来ではないかと思う。地区社協の活動とも重複することがあると思うが、高齢者や不自由な人の支援を続けてゆきたい。

中野：地区には空き家がある。空き家がこれからは増えてゆくとと思う。家や庭の管理は家族の問題ではあるが、地域でも何か工夫できないか。地区の福祉課題の一つだと思ふ。福祉委員だけでできるところではないので、地区社協で各種団体と手を取って、お互いの地域を安心できるものになりたい。



浜淵 国江さん



山下 隆志 会長

地区社協の設立にも関与

頃末：福祉委員自身が、楽しめることが大切。世話する方の慰労も含めた福祉委員相互の交流や親睦を図ることを全市で考えてほしい。福祉委員を1期で変わる人が多い。もう少しベテランの人がいてもいいのではないか。寄島では地区社協はこれからだが、福祉委員が地区社協の立ち上げにも気概を持って取り組んでゆきたい。

国本：サロンでは参加者が主役。高齢者・先輩を大切にすると雰囲気地域に醸造したい。サロンでの企

画で、新しいネタを取り入れたい。また男性の参加者、男性の担い手を増やすことが当面の課題だ。

山下：6人の委員さんのお話、いずれも参考になりました。皆さんのお話を総合すると、社協の仕事は、「地域をつくること」に行き着くようです。社協が提唱し、現在市内に約80か所で行われているサロンには健康づくりとか閉じこもり防止とかいくつかの目標があるのですが、究極は地域の活性化だと思います。地区社協での目標もまた地域を元気にすることにあります。そのためには民生委員をはじめとする各種各層各団体との連携が必要です。

「無縁社会」「買物難民」という言葉が聞かれるようになりました。私たちは地域との関わりなしには生きてゆけません。福祉委員さんには、地域のキーパーソン、ムードメーカーとしてますますのお力添えをお願いします。



浅口おもちゃ病院

2013年の予定

日 時	場 所
2月17日(日)	寄島公民館 (サンパレアの南の建物)
3月17日(日)	金光公民館
4月21日(日)	浅口市中央公民館 (鴨方町天草)
5月19日(日)	寄島公民館 (サンパレアの南の建物)
6月16日(日)	金光公民館
7月21日(日)	浅口市中央公民館 (鴨方町天草)
8月18日(日)	寄島公民館 (サンパレアの南の建物)
9月15日(日)	金光公民館
10月20日(日)	浅口市中央公民館 (鴨方町天草)
11月17日(日)	寄島公民館 (サンパレアの南の建物)
12月15日(日)	金光公民館

※時間は、毎月9時～12時（受付は11時半まで）
 ※日程が変更することがあります。詳しくは、
 浅口市社協 TEL 0865-44-7744 へご確認ください。

浅口市の地域福祉に関するアンケート

ご協力をお願いします。

社会福祉協議会では、浅口市民の福祉に関する実態や意向を把握することにより、社会福祉協議会の今後の事業の参考とするためにアンケートを実施します。

各地の福祉委員さんが、対象者の方にアンケート用紙を配布し、回収します。

アンケートを依頼された方には、ご協力をお願いします。

本アンケートは調査目的以外に使用することはありません。

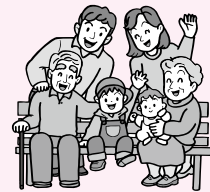
統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

実施主体 浅口市社会福祉協議会

対象者 20歳以上の浅口市民 900人

調査期間 平成25年2月～3月

調査協力 福祉委員



食育レシピ ひな祭り寿し（4人分）

材 料

米……………300g	あなご……………100g
水……………450cc	砂糖……………大½
A 酒……………大1	D しょうゆ…小2
だし昆布…10cm	みりん……………大1
B 酢……………40cc	卵……………1個
砂糖……………大3	塩……………小½
塩……………小1	砂糖……………小1
黒豆……………60g	油……………小2
エビ……………8尾	菜の花……………40g
C 酒……………小1	紅しょうが…10g
塩……………少々	
みりん……………小1	

作 り 方

- ① 米は、洗って**A**を入れおく。
- ② 黒豆は、洗ってから炒りしておく。
- ③ ①に②をいれ軽く混ぜ炊飯する。
- ④ **B**の合わせ酢を作る。
- ⑤ エビ、あなごの素焼きはそれぞれ**C**、**D**の調味料で炊いてさましておく。
- ⑥ 卵は調味料を入れ油を敷いた鍋で炒り卵をつくる。
- ⑦ 菜の花は、色よく塩茹でする。
- ⑧ 炊き上がった黒豆ごはん、④をいれ混ぜ合わせずばやく冷ます。
- ⑨ すし飯を器に盛り、エビ、あなご、炒り卵、菜の花、紅しょうがを飾る。

利用される方、
増えています！

ほっとあんしん

日常生活自立支援事業

事例 1

認知症がある一人暮らしの高齢者（Aさん）

きっかけ▶ 通帳やはんこ等を何度も紛失し、そのたびに再発行の手続きを行っていた。ホームヘルパーが訪問した際にも、財布をなくしていることが多く、そのたびに捜していた。財布も通帳も見つからない場合には、食材の買い物も出来ず、生活が不安定であったため、ケアマネジャーから社会福祉協議会に相談があった。

相談から契約▶ 相談を受けた社会福祉協議会の専門員が、ケアマネジャーと自宅を訪問し、Aさんと面談を行った。また、ホームヘルパーや地域包括支援センターの担当者からもAさんの様子を確認。Aさんの県外の息子夫婦からも「本事業を利用したい」との申し出があり、契約を行った。

支援内容▶ 月2回、生活支援員がAさんと一緒に金融機関に行き、払い戻しを行っている。また、Aさんから「毎日一人でさみしい」という相談があったため、近所のふれあいサロンを紹介した。書類等の預かりサービスとして通帳とはんこを預かっている。

◎福祉サービス利用援助 ◎日常的金銭管理サービス ◎書類等の預かりサービス

事例 2

訪問販売で高額商品を購入してしまう高齢者夫婦（Bさん・Cさん）

きっかけ▶ 訪問販売の羽毛布団（約50万円）を購入。Bさんが気に入って使っているため、購入し県外に在住の長男が現在ローンを支払っている。しかし、今後も悪質な訪問販売の被害にあうことを恐れ、長男がケアマネジャーに相談した。ヘルパーを派遣し、家事援助を行いながら見守りを続けていたが、同じ業者から健康食品（約12万円）を購入していたため、社会福祉協議会へ相談があった。

相談から契約▶ 健康食品については、クーリングオフの手続きを行った。Bさんも「今後も訪問販売の人が来たら不安…相談にも関ってほしい」とのことで、今後の被害を防ぐため、契約を行った。夫の年金のみで生活が十分できるため、夫の通帳とはんこを預かり、払い戻し等の手続きを行っている。妻については、長男が通帳を管理し、入院をした場合等に即座に対応できるよう福祉サービスの利用援助のみの契約とした。

支援内容▶ 月1回、生活支援員が自宅を訪問し、Bさん、Cさん夫婦の支援を行っている。

Bさん：◎福祉サービス利用援助 ◎日常的金銭管理サービス ◎書類等の預かりサービス

Cさん：◎福祉サービス利用援助

◎お問い合わせ 浅口市社会福祉協議会 ☎ 44-7744

認知症にやさしいまちづくりに ご協力ください

認知症は、誰でもなる可能性のある病気です。いつ自分や家族あるいは友人、知人になるかもしれません。だから他人事として無関心ではなく「自分たちの問題」という思いが大切です。

認知症サポーターって、何か特別なことをするように思われるかも知れませんが、自分の出来る範囲で活動し認知症の人やその家族をあたたく見守る応援者として活動する事なのです。

浅口市では、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。地域の集まり、学校や職場へ出向いています。お気軽にお問い合わせください。

認知症サポーター養成講座

無料

- 対象内容**
- 会社や地区の集まりなどで、概ね10人以上のグループ
 - 認知症の基礎知識
 - 認知症の方やその家族への関わり方
 - 認知症の予防など

講師 ▶ キャラバン・メイト

時間 ▶ 90分 (または60分)

会場 ▶ 企業や職場へお伺いします

寸劇や
グループワークなども
行っています。

お問い合わせ・お申し込み先

▶ 浅口市高齢者支援課 ☎44-7388

認知症の理解の輪を広げよう

浅口市認知症セミナー

- ◆ あさくちフォトコンテスト表彰式
- ◆ 金光小学校 6年生による
認知症学習発表
- ◆ 認知症の妻へ捧げる詩の朗読

講演 「知ってほしい! 認知症」

わくたに ようすけ

講師 涌谷 陽介 氏

日時 2月16日 (土)

13:15~16:00 開場12:45~

場所 浅口市健康福祉センター
3階 多目的ホール



それゆけ! ボランティア

食事ボランティア「えぶろん」の巻

鴨方地域の高齢者の方へ、毎月2回、第1・3水曜日に手作りのお弁当を作り、配食の時に声掛け・見守りを行っています。材料の大きさ・切り方、煮つけ等、レシピの手順に従って調理を進めていきます。また、盛り付けや色合いも大切に、温かい内に届けられるように

手早く行います。利用者さんからの、“水曜日のお弁当の日が待ち遠しい”というお便りに元気をいただきます。ふれあいを大切に、皆さんに喜んでいただけるよう、一同頑張っています。

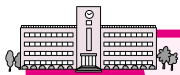
今、「えぶろん」では、ふれあい弁当作りに参加して下さるボランティアさんを募集しています。

ボランティア協力校だより



浅口市社会福祉協議会では、小中学校の児童・生徒を対象として、社会福祉への理解と関心を高め、地域連帯と助け合いの精神を育むことを目的として、ボランティア協力校を指定しています。

社会福祉協議会では、目的が達成できるよう活動費として助成金を支給するほか、①連絡会の開催 ②関係機関との連携 ③講師等の紹介 ④活動に必要な機材や情報の提供を行っています。各校の活動の一端を紹介します。



しおかぜ班の栽培活動

寄島小学校



異年齢集団のしおかぜ班（縦割り班）でサツマイモとヒマワリの栽培をしています。サツマイモは6月に植えつけ、水やりや草取りを6年生が中心になってしおかぜ班で行っています。昨年からは婦人部のボランティアと一緒に植えたヒマワリの苗も育てています。

みんなで育てたサツマイモは10月下旬のイモホリ大会で掘り起し、11月にはみんなで会食を楽しみます。栽培活動を通じて生徒の集団の所属の自覚と協力することの大切さを深めています。

地域の方との交流（5年生）

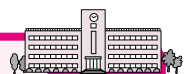
登下校での見守りや総合的な学習の時間などでの学習活動に、地域の方々がさまざまな形で支援して下さり、交流を深めています。

毎年3学期には、その方々へ日頃の活動に対する感謝の気持ちを込めて、児童みんなで世話をした花に手紙を添えてプレゼントを贈る活動をしています。

この活動を重ねることで、地域と学校との絆が年々強まっています。



鴨方東小学校





空き缶作戦・金中クリーン隊

金光中学校



環境委員会が中心となって全校で「空き缶作戦」を行っています。環境委員と当番の生徒が、町内各所に設置したオリジナルのゴミ缶に入れられた空き缶等を回収しています。また、生徒会役員で結成された「金中クリーン隊」が、空き缶作戦と同じ時間帯に町内の清掃活動を行っています。回収した空き缶はきれいに洗い、リサイクルに役立っています。

ゴミ缶の設置による空き缶等の回収活動は20年以上取り組まれています。

ちょボラ活動（※ちょボラ：ちょっとしたボランティア）



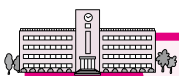
ちょっとした手伝いや片付けなどを普段から行う「ちょボラ活動」を始めて6年になります。

全校児童がそれぞれ行った活動を「ちょボラカード」に書き、学期ごとにその取り組みを掲示しています。友達の活動を知ること、活動の活性化にもつながり、思いやりの心がはぐくまれています。

特に、頑張った児童を毎学期に「ちょボラ大賞」として表彰し、その頑張りを称えています。



六条院小学校



竹川ほたる学習（4年生）

金光竹小学校



学区内を流れる竹川に生息するほたるについて、ほたるの住める自然環境づくりについて学ぶとともに、地域との連携による活動を進めています。

特に今年度は、ほたるの生息する周辺の環境保全と自然環境の保護を呼びかけるポスター作りにも児童が取り組み、竹川周辺に掲示されることになっています。

自分たちの住む地域を見直し、地域の環境や生き物に関心を持つこととともに、地域の方々との交流の機会になっています。

子育てボランティア研修会

みんなでき子育てを応援しよう

「子育て王国あさくち」のために

浅口市社会福祉協議会では、12月13日に就実大学の村中先生をお招きして、浅口市内で子育て支援のボランティア活動をされている方を中心に研修会を開催しました。

先生のお話は、具体的な話も交えながら、わかりやすく・元気になる講演でした。

母親である前に一人の人間

子どもは、どのように育てたら人間らしく育つのか。大人や親が、頑張つて子育てをしなければならぬ

という視点では、子どもの全体のうちが見えなくなつて来ている。もう一つの新しい視点として、母親に焦点を当てて、お母さんにとって子どもはどういうものか、母親の子育て能力を考えていく必要がある。

戦後、民主主義の影響を受けて、女性が自分の人生を選択できる時代となった。こうした価値観が定着した今日、母親だけでも同時に女性であり一人の人間であると考えようになつた。このこと自体は、母親が悪いのでもなく、批判されることもない。

自分が大切にされる経験で育つ

赤ちゃんの脳神経細胞は大人と同じ

じ数あり、誕生直後既に人の顔に視線を合わせようとす。ばらばらの神経細胞は、お母さんの「いい子だねー」という声かけや、自分に好意的な声掛けをしてくれる事が多いほど影響を受けて発達し、声かけが少なくないと、人を認識する力が育たず上手な対人関係が築けない。

反抗期の子どもが素直でない、甘えてくるのも、「甘えの戒め」ではなく、人間はしんどい時には、母親が「おーよしよし」としてくれたことを何度も確かめながら成長していく。

子育てボランティアは保護者へも

母親の側から育児を見て支援していくと、何が求められているか見え

てくる。寂しい子どもや、虐待される子どもが増えて、母性も時代と共に形を代えてやってくると思う。

母性を皆で担う、そこに来た時にフランスのとれた育児が出来ると思う。育児に関して、日本は未だ発展途上国。自分の子どもを育てた上に無償で子育ての支援をしたいと思つている皆さんのお力が、これからどれだけ求められるかわからない。お母さんが、ゆつたりとして育児に向かつてもらえる支援が出来たらいいと思つている。

とくに男性の子育てに期待

昔は、母親にとつては理不尽なことも沢山あったが、子どもにとつてはとても良い居場所であった。今は、個の文化となり自由にはなつたが、子どもの居場所が無くなつてしまつた。のんびり、意識して周りの手を借りながら、子育てが出来ていけるように、今の時代で頑張っている母親たちへの支援が求められている。特に男性の理解と協力が必要だ。少子化を乗り切るためには、制度政策も必要だが、従来の男女の価値観を転換する必要がある。





お達者さん

渡邊 千枝さん (96歳)
金光町 (大谷東)

幼少の頃

大正5年、小田郡今井村（現在笠岡市馬飼）に生まれました。8人兄弟の4番目で、兄弟が多いため家はお金がなく貧しくて、近所の人から両親に「里子か奉公に出したらどげーなん」と言われていたようでした。しかし母親は、頑固として「苦しくても、なにかあっても自分で育てる」と言って、私達兄弟を一生懸命守ってくれました。母親のおかげで現在の自分があると思っています。

母親は、伏越港（笠岡市）に、かご盛りのバナナを買いに行ってくれました。今では、キズが付いて捨てる様な物でしたが、兄弟で競争して食べたことを思い出します。ここまで生きられたのも生き運があったからでしょうか。母親には幾つになっても感謝しています。

尋常小学校の時でしたが、隣の席の子が級長をしておりました。私は、級長の赤いタスキがうらやましく、横取りして掛けていたのを先生に返すように注意されたことがありました。少しおてんばだったのでしょうな。ある程度勉強できていましたけど、結局一番になれず、級長にはなれませんでした。（笑）

楽しみ・好きな事

ふれあいサロンには毎回参加しており、皆さんとワイワイ話を楽しんでいます。しかし最近友達

が、施設に入所されたので少し寂しいですな。

サロンにひょうたんを持って来られた方がおられました。ひょうたんから駒ではないんですが、ひょうたんから人形を思いつきました。私は、手芸が得意なので、頭は毛糸で帽子を編み、服は布切れで作って着せてやり、人形を作っています。サロンに来た人や近所の人に差し上げています。

一日の過ごし方

朝食を作って家族を送り出してからまた少く床に入って、8時前に起きて連続ドラマを見ています。それから、陽のあたる窓べりで、新聞を読んだり手芸をしたりするのが日課です。新聞はすみからすみまで読み、世の中の事を頭の中に入れております。頭の中はパンク寸前です。（笑）

元気の秘訣

お風呂で毎日、首の周りや背中を伸ばしたり、腸のあたりを手ぬぐいでマッサージをしたりしています。テレビの体操に合わせて、無理をせず自分のできる範囲で体操もしています。

また、家族の食事を、毎日作っております。私一人だったら大儀で簡単に済ませたり、作らなかつたりするかもしれませんが、でも、家族がいるから、頑張って作って、ちゃんと食べるので元気でおれるのでしょうかね。

ふれあいサロン研修会

1. 日 時

平成25年3月12日(火) 13:30～16:00

2. 会 場

浅口市健康福祉センター3階 多目的ホール

3. 対 象

- ・ふれあいサロン活動に取り組まれているボランティアの方
- ・サロン活動に興味のある方 など

4. 内 容

- ・活動実践発表
- ・救急法（応急手当）の実習
講師：日本赤十字社岡山県支部 指導員
- ・サロン傷害保険について
※動きやすい服装でお越しください。

5. お申込み

3月1日(金) 締切
浅口市社会福祉協議会 電話：44-7744

新連載



天文台のまち、盛り上げたい

石井 邦雄さん
(鴨方町深田)

この時期の星は何と言っても「オリオン座」。冬の宵、南の中天にひとときわ明るく輝く3つの星は、ギリシャ神話では狩人の腰ベルトとか。今年も天文ショーが続きます。彗星が2つ来ます。肉眼でも見えるとても明るい彗星になりそうです。今から楽しみです。

天文台博物館 友の会で仲間づくり

天文台博物館友の会に入り、観望

星空を見上げて みませんか

星を見ることは、年齢を問わずだれにでもできる趣味です。何気なく見ているも楽しいのですが、ちょっとした知識を持つと、楽しさも倍増。私も蒜山で見た「手の届くような」満天の星を見てから、好きになりました。230万光年離れた銀河などの神秘的な星を見上げてみましょう。レクチャーのお手伝いをお願いしますよ。

冬の星座は やっぱりオリオン

会や、博物館のイベントの手伝いをしています。私自身は初心者なのですが、各方面に詳しい方がいて参考になりますので星の話は尽きません。
観望会では、土星のリングなどを見て、喜んでもらうと、こちらもうれしくなります。

自宅開放し星カフェも

自宅の庭にログハウスを建てました。お茶を飲みながら星の話が出る、フリースペースにするのが夢です。また、出張観望会の相談も受け付けます。子ども会、お友達の誕生会、ふれあいサロンでも…希望に応じて望遠鏡を持っていくこともできます。

浅口市は天文台のあるまち、もっとPRして盛り上げてゆきたいですね。



ログハウスで星のはなしを

広告

大切な家族だから、誰にでもは任せたくない。

佐方ニュータウンで人気の**デイサービスおとなりさん**が金光地区ではじめて延長利用・夕食・宿泊に対応したまったく新しいデイサービスをオープンさせました。



おとなりさん **きらり**

延長サービス

宿泊サービス

文化教室

夕食対応

0865-42-9020

受付時間 8:30 ~ 17:30

(休業日：毎週日曜日・年末年始)

おとなりさんきらりは介護保険適用施設ですが、延長利用・食事・宿泊にかかる料金は保険適用外となります。

篤志御礼

(平成24年12月28日まで)
ご寄付ありがとうございました。
地域福祉事業に有意義に使用させていただきます。

金光町

- 友田 晴美さん(佐方)より
亡母 春野さんの香典返し
- 中下 忍さん(下竹)より
亡夫 精二さんの香典返し
- 藤田 良彦さん(占見)より
亡父 晃久さんの偲び草
- 久保田 庸子さん(大谷)より
亡夫 謙輔さんの偲び草
- 杉野 重行さん(占見)より
亡母 下枝さんの香典返し
- 唐川 充夫さん(占見)より
亡母 アサヨさんの香典返し
- 金光 正明さん(大谷)より
亡父 祺正さんの偲び草
- 定金 雅海さん(占見新田)より
亡母 宣子さんの香典返し
- 清水 信行さん(佐方)より
亡父 満之さんの香典返し
- 川手 敏宏さん(上竹)より
亡母 キヨコさんの香典返し
- 久戸瀬 禎之さん(占見新田)より
亡父 靖信さんの香典返し
- 原田 正利さん(下竹)より
亡母 タマエさんの香典返し

鴨方町

- 土屋 紀幸さん(六条院西)より
亡父 健次さんの香典返し
- 山下 展弘さん(六条院中)より
亡母 コトヨさんの香典返し
- 横溝 文宏さん(小坂東)より
亡父 正士さんの偲び草
- 矢木 浩子さん(みどりヶ丘)より
亡夫 謙二さんの偲び草
- 金田 浩之さん(鴨方)より
亡父 善男さんの香典返し
- 亀高 秀男さん(六条院中)より
亡母 嘉子さんの香典返し
- 川口 敬子さん(益坂)より
亡夫 茂行さんの香典返し
- 石井みどりさん(小坂東)より
亡母 玉江さんの香典返し
- 赤澤 恵子さん(鴨方)より
亡夫 總一郎さんの香典返し
- 児玉 京子さん(鴨方)より
亡夫 忠汪さんの香典返し
- 稲塚 富子さん(本庄)より
亡母 さかゑさんの香典返し
- 横溝 孝明さん(小坂東)より
亡父 一郎さんの香典返し
- 柚木 寿仁さん(鴨方)より
亡父 正志さんの偲び草
- 秋田 紫織さん(六条院西)より
亡夫 七郎さんの偲び草
- 筒井 洋子さん(地頭上)より
亡母 つやこさんの香典返し
- 田中 亨さん(小坂西)より
亡父 弘さんの香典返し
- 高橋 亮さん(六条院東)より
亡父 時夫さんの香典返し

寄島町

- 笠原 讓さん(六条院西)より
亡母 金井 敦子さんの香典返し
- 田中 実さん(鴨方)より
亡祖母 操さんの香典返し
- 小野 令子さん(小坂西)より
亡夫 貞夫さんの香典返し
- 栗尾 一志さん(六条院中)より
亡母 香さんの香典返し
- 西原町内会・御船会・子供会
中山子供会、
鴨西少年団、
鴨西子供会、
鴨方東子供会、
鴨東少年団、
中山峠子供会より
祭りのお花の一部として
- 浅口市総合文化祭(鴨方会場)
実行委員会より
文化祭チャリティー売上の一部として
- 井笠鉄道労働組合より
篤志寄付として
- グループホームふるさとより
篤志寄付として
- 高田 芳郎さん(柴木)より
亡母 美恵子さんの香典返し
- 笠原 土夫さん(東安倉)より
亡妻 艶子さんの香典返し
- 坂本 真人さん(尾焼)より
亡父 讓さんの香典返し
- 三宅 哲一さん(宮通)より
亡母 寿美恵さんの満中陰志
- 三宅 圀郎さん(西安倉)より
亡母 辰子さんの香典返し



クイズの答えとともに
「福祉あさくち」の
感想をお寄せください

地区だけでは仲々進まぬ行事も社協の力をかり、敬老会、道路の警備等、スムーズに行われている様子がよくわかり社協会費がいろいろの面で活動利用されている様子がよくわかり感謝しています。

鴨方町 田淵さん

市戦没者追悼式に今年初めて中学生が参列され、戦争の恐ろしさを感じ、今の平和のありがたさを体感されたと思います。とてもよいことだと思いをしました。

寄島町 黒川さん

福あさ 恵方巻
4コマ劇場

提供：鴨方高校まんが愛好会
画：汀



今年も

『東日本大震災
チャリティーバザー』
を開催します

東日本大震災から、はや2年になろうとしています。

浅口市ボランティア連絡協議会では、被災地の復興に少しでもお役に立てればと、昨年に引き続き、今年も社会福祉協議会の協力を得て、「東日本大震災チャリティーバザー」を開催いたします。

日用品、手作り作品等々格安で販売いたします。

多くの方々にお買い上げ頂き、被災地支援にご協力をお願いいたします。

(収益金は全額義援金として送金いたします)

開催日時 平成 25 年 3 月 10 日 (日)

12 時～14 時

開催場所 健康福祉センター

3F 多目的ホール

事務局 ☎44-7744



掘り出し物があるかも...

- 日用品
- タオル
- 石けん
- 食器
- 手作り品
- 草餅 etc

クイズ

探して並べて

今号の紙面に□で文字をかこんだ箇所が7か所あります。この7文字をならべかえて、言葉をつくって下さい。

◆ヒント 節分のならわし。信心の表れと言われます。

◆締め切り 3月31日(日) 消印有効

◆前回のこたえ しちごさんまじりでした。

応募方法

官製ハガキに住所、氏名、答えと「福祉あさくち」の感想を必ずお書きの上、

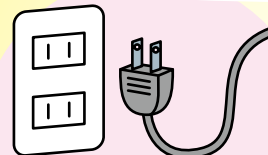
〒719-10243 鴨方町鴨方73番地
浅口市社会福祉協議会まで。

正解者の中から抽選で20名に記念品贈呈。

火の用心



消すまでは 出ない 行かない 離れない

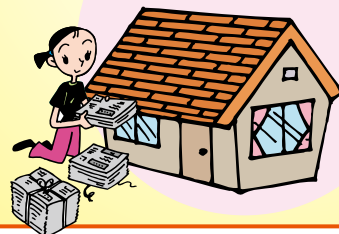


- ◎コンセントにホコリがたまってませんか?
- ◎プラグのタコ足配線をやめましょう

- ◎ストーブと寝具が近すぎませんか?
- ◎ストーブのまわりを片付けましょう



- ◎屋外に可燃物が出てませんか?
- ◎門扉を閉じて施錠しましょう



『福祉あさくち』はボランティア『浅口はるか会』のご協力により目が不自由な方のために音訳しています。詳しくは社会福祉協議会へ。



福祉あさくち

2013.2.1
第25号

発行/浅口市社会福祉協議会